

新たな食料・農業・農村基本計画に関する国民からの御意見・御要望について(第7回)

透明で開かれた政策決定プロセスを取る観点から、国民の皆様から御意見・御要望を広く募集し、食料・農業・農村政策審議会企画部会における議論に活用。

第6回の募集は、今までの議論に対する御意見・御要望について、インターネットや郵送、また地方農政局等を通じて7月7日から7月23日まで御意見・御要望を募集。(計71件)

今までの審議会の議論に対する御意見・御要望の一部を紹介すると以下の通り。

既に経営刷新のためのコストの削減努力ができないような、硬直的な経営環境をビルトインしてしまったのではないかと。持続的農業経営のためには、この点の構造改革が望まれている。

塩漬け状態の非農地が拡大している状況下で、平場の最優良農地がどんどん潰されている現状こそ最大の問題である。

地域の集落営農や法人が利益を上げ、雇用が出来なければまわりの農業者を守っていきません。

担い手への対応、農地の面的集約に取り組むことを是非、推進して欲しい。担い手の確保と育成に力を入れ、持続可能な農業政策へとなるようこれからも期待します。

基本計画が農業者を含めた国民に知ってもらえる啓発部分が少ないのでは？

市民が積極的に農業を就職先に選べるような農家・農業支援を切望する。

農業学校・農業専門学校等の新設充実を希望します。先達って質の高い教員の養成の必要を思います。手始めには民間の農業指導塾の調査と、保護支援から。

性別	年代	都道府県	職業	御意見・御要望の分野	御意見・御要望の内容
女性	30代	岩手	主婦	地産地消、食育	"おとりよせグルメ"は、いつになっても主婦層には特に需要があります。各地方の自慢の地産地消商品で、尚且つ、地方発送できる商品を集め、"農林水産省おすすめ"で、本やサイトがあるといいと思います。
女性	30代	岩手	主婦	農業経営、担い手	担い手を確保するのは今がとて良いように思う。研修という形でもいいので、行政が農業教室のようなものを作り、体験できる機会を設けるのはどうだろうか。食わず嫌いもあるかもしれないと思うからだ。一口に農業といっても様々である。それすら気付かないのが現状ではないだろうか。
男性	60代	岩手	農業	農業経営、担い手	<p>長期にわたる生産調整や減反政策下のMA米の受け入れは、農民の心を逆なでする以外の何ものでもありません。農業者の心の尊厳や何世代にわたって培われた農村文化が壊れた今、まずは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニマムアクセス米を取り除くこと。 ・安心して働いて、食べていけるだけの所得補償をすること。(たとえば特定公務員制度の導入など) ・額に汗して働く個人に対して、直接所得補償を考えてほしいです。
男性	60代	岩手	その他	農地、耕作放棄地対策	<p>最近2回ほど、国立公園である須川岳(栗駒山ともいう)に登山いたしましたが、一関市から北上市、横手市、成瀬村を通過いたしました。感じたことは、すべての見えるところが水田、水田です。いかに重要な米作りではありますが、産業としてみた場合、とにかく多すぎると思います。</p> <p>異状な産業は医療費と同じで、自己責任で行うべきです。国が国がでは国家財政が大変です。自由競争の中で、収支の保てない農家は自分の判断で決意すべきです。国家の大英断がなければ解決しないと考えますが。</p>
男性	50代	宮城	その他	その他	<p>今回の緊急対策等は組合員に周知する時間が無さすぎる。県等行政も全く後からの指導で、できる人だけが補助金申請するなど検討していただきたい。</p> <p>また、要件等の条件がありすぎて、組合員間でも取扱いが違うことから不満が出ており、JAとしても日常業務のほかに説明会を開催したり、申請の手伝いや残業してまで期日まで提出しなくてはならないなど、逆に負担が増えていることからもう少し検討していただきたい。</p> <p>食料を生産する農業を政策の中でどのように位置付けるのか。基本方針を示していただきたい。</p>
男性	60代	秋田	農業	農村振興、中山間対策	<p>中山間地域活性化に伴う政策について</p> <p>昭和45年の減反政策により、畜産拡大路線に乗り(搾乳牛50頭、稲作4ha、りんご4ha)、兄弟農場を目指す。昭和48年の豪雪、昭和55年の乳製品自由化の中で昭和59年に酪農廃業、他産業(県外)に従事。平成3年3月帰郷。</p> <p>これまでの経験を踏まえ、中山間地域に見合う経営形態、環境保全、高齢化による耕作放棄地をいかに担い手、集落営農法人につなげるか、考察し実践したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中山間地域に緬羊を導入し、土地の有効利用を図る。(現在雄1頭、雌4頭飼育中、5年後30等予定) 2 小資金で飼養可能。高齢の方たちも昔は家畜を飼養していた。 3 草資源の有効活用のため、耕作放棄地を活用。 4 穀物の給餌量が少なく、輸入依存が低い。 <p>中山間地域の活性化のため、一つの方法として適地適畜によって環境保全に対処・実践することによって実証したい。</p>

男性	50代	山形	その他	食料・農業・農村政策審議会企画部会の資料及び議論	JIAは肥大化して、本来の組合員のための組合ではなくなった。原点に帰り、農家と密着した指導、支援を希望する。
男性	50代	山形	その他	食料・農業・農村政策審議会企画部会の資料及び議論	<p>1 既に経営刷新のためのコストの削減努力ができないような、硬直的な経営環境をビルトインしてしまったのではないか。持続的農業経営のためには、この点の構造改革が望まれている。</p> <p>2 耕作放棄地の農地化はトラクターやブルドーザー、ショベルカー（レンタル）で農家自身ができる。</p> <p>3 塩漬け状態の非農地が拡大している状況下で、平場の最優良農地がどんどん漬されている現状こそ最大の問題である。</p> <p>4 農地の貸借は「賃貸借」の他に、「使用貸借」をより普及させるべきではないか。所有者が持て余している事例も多いので、この方式を周知徹底した方が良いのではないか。</p> <p>5 民間銀行等の融資やコンサルタント事業も盛んに行われているが、利息やコンサルタント料が適正かは議論の余地がある。</p> <p>6 背広や作業制服姿での「現地調査」はやらないよりはましだが、得られる情報は限られるように感じる。</p>
男性	60代	山形	その他	農地、耕作放棄地対策	農地対策について一言。最近刈り払いしただけの不作付け田畑が随分多く見かけるようになった。これではたちまち原野に返っていくだけです。農地を守っていくために、助成金を払ってでも耕耘するよう指導していくべきだと思います。
男性	70代以上	山形	林業	農地、耕作放棄地対策	山村振興を希望する。
男性	70代以上	山形	林業	農村振興、中山間対策	<p>林業という職業はしょせん成立できない産業でもある。</p> <p>若い時代に植林したとはいえ、成木するのは東北地方は70年～80年かかるわけだから、自らが植えたにもかかわらず、生きていた間は伐採、つまりお金を得ることができない。</p> <p>何世代もかけてようやく収穫できるわけで、しかも現在の丸太の低迷では持続できなくなる状況になった。伐らずに守っていくだけという生き方は難しい。</p> <p>CO2の削減は世界の重大関心事である。森林は二酸化炭素を吸収し、酸素を供給している。その価値を生かしてほしい。</p>
女性	70代以上	福島	主婦	自給力・自給率、食料安全保障	広範多岐に亘ってのプロジェクト作りも結構でしょうが、根本は農業の担い手の育成・確保と食料自給率のUP、せめて70%（現在40%）ぐらいにしていきたいものです。安全・安心の食料を、輸入依存を少なくして、国内での生産・流通の多様化で、需給調整システムの構築、需要の開拓・マッチングにプランニングして、しっかり取り組んでいただきたいと存じます。
男性	70代以上	福島	その他	食の安全、消費者の信頼確保	相変わらず食品表示のデタラメな表示が多いのはどうしたものか。今回も大手の水産会社が「ズワイガニ」と「紅ズワイガニ」の意識的な印字など、とても消費者本位の商売とは思えない。ソロバン勘定が第一で国民目線での営業が第二となり、とても安心して買える商品とはいえず、公正公平な業界が減りつつあるのは情けない。猛省を求めても無理な所か。

女性	70代以上	福島	主婦	食の安全、消費者の信頼確保	スーパーの自家製の惣菜には、使用材料名や産地名など知りたい情報の表示がありません。単身世帯や老人世帯が増えており、自家製惣菜は重宝しています。安心して食べたいと思いますので、最低限の表示をお願いしたい。
女性	60代	福島	主婦	食の安全、消費者の信頼確保	先日、福島県の矢祭町の「もったいない市場」を東京で開催し、とても盛況だったとのニュースを見ました。私はこのような催しにとっても興味を持ちました。同じように愛情をかけられて育った農作物が、少しの規格外のため全く商品価値が下がり、廃棄される現場を見たことがあるからです。 私達消費者は、規格より安全・安心な商品を求めており、規格外など気にせず、格安で購入することができる、このようなシステムの店を求めています。消費者と生産者が信頼関係で結ばれたこのような流通システムを大いに歓迎する一人です。
女性	40代	福島	会社員	食の安全、消費者の信頼確保	ミツバチの大量死が報告されていますが、カメムシ防除のための過剰な農薬散布が原因の一つとされています。「斑点米」が等級検査ではねられてしまうため、農家が大量に農薬を使用するという悪循環になっています。 私は農薬をたくさん使われた白い米を食べるより、多少の斑点米があっても味には変わりないと思っていますので、後者の方を選びます。消費者が購入するときには等級は関係なく売られています。等級は無意味だと思っています。
男性	50代	福島	会社員	地産地消、食育	自分はその土地で生産された食材が、道の駅、JAの直売所等で販売されていると、必ず購入します。生産者の名前が入っていて非常に信頼できるからです。スーパーに行っても極力外国産は食べません。安全性に信頼をどうしても感じられないからです。地産地消で日本の農業を守るために、バックアップしていきたいと考えています。
男性	70代以上	福島	会社員	農業生産	水田を放棄地にしないでほしい。米の減反政策はやめたほうが良い。 健康食品の大切さを知っている層が増えている現代、麦、大豆の輸入にいつまでも頼ってはいられない。外国も同じ健康食品ブームである。麦、大豆、飼料作物の作付を拡大(助成金は可)して、日本本来の農業を取り戻してほしい。農家の自由裁量に任せれば、経営への工夫もなされるであろうと思われる。産直販売で成功している農家もある。
男性	50代	福島	農業	農業生産	先日、石破農水大臣が減反見直しを発言され、物議を醸しましたが、私達の暮らす地域では、小麦や大豆は気候的に適合しにくい作物です。 減反政策は継続して、米を作りたい生産者には、減反部分にインディカ米を作付けさせて輸出するのはどうでしょう。生産調整の助成を廃止し、インディカ米生産者に対し直接助成をすれば、全世界の農地や農産物が減少し、人口が増加している現在、なお、農業所得の向上や国内米価の安定にも有効ではないでしょうか。
男性	30代	福島	会社員	農業生産	日本の国土から考えると、大量生産し、低価格での販売は難しいと考える。日本が進むべき方向は、質の向上。コスト削減などを考慮するよりも、よりおいしく・より安全な食品を開発・生産し、世界と戦っていくことが望ましいのではないかと考える。地産地消は理想論であって、現実無理なことが多いと思われる。力を入れるべき所に集中して力を注ぐべきだと考える。

女性	70代以上	福島	主婦	農業経営、担い手	<p>農業経営の担い手を育てるために 現在、農業高等学校の卒業生の就農率はどれぐらいになっているだろうか。将来、農業に従事することに夢を持って進学している学生が何人いるだろうか。普通高校に入りたいが、学力不足のため農高に進学するという学生が相当数いると思う。 魅力ある農業の学校教育、人的環境、経済的環境(施設・設備)の充実に期待したい。就農者の意欲喚起に「二宮御仕方(にのみやごしほう:福島県北部に伝わる二宮尊徳の教え)」の導入も効果ありと思われる。</p>
男性	50代	福島	農業	農業経営、担い手	<p>米作中心です。野菜を組み合わせで経営しています。 高齢になれば、自然にある一定の人に農地が集約するので、法人化、集団化はいずれなります。そのための施策はいろいろありますが、行政サイドの説明が後手に回っています。経営が成り立てば、担い手は当然発生しますので、末端の関係部所でのPRをしっかりとして下さい。</p>
男性	60代	福島	その他	農地、耕作放棄地対策	<p>1 高齢化により耕作放棄地が多くなっている現状を踏まえて、農地の売買が簡単にできるようにすること。 2 新たに耕作を開始するには、農機具への初期投資が嵩み採算が取れない。 3 耕作放棄地を利用したい人には、所有者の同意がなくとも市町村長(地方公共団体)が許可できるようにする。(荒地が減少する。) 4 隣組で協力して活用する。(場合によっては公園活用も考えてはどうか。)</p>
男性	60代	福島	農業	農村振興、中山間対策	<p>毎年農業者が減少していくということは、日本農業はどういうことになるのだろうか。農業予算を3兆円もつぎ込んで減少は止まらない。これでは自給率を向上しようと呼んでも、それを支える人々がいなくなってはどうしようもない。農業で一生懸命働いても農業収入で家族を養えない。高齢化だとか担い手不足ではなく、十分な所得が得られないだけだ。日本の農業の内部構造をどうするかということだと思う。</p>
男性	60代	福島	農業	農村振興、中山間対策	<p>私どもの所は中山間地に位置しており、多くの水田は急斜面にあり、そのような地形にて米を生産しております。 現在、中山間地域直接支払制度事業に集落で参加し、水路、農道の清掃や簡易補修、草刈り等を実施し、農地の保全に協同で頑張っています。この事業を今後も継続していただきたく、御要望をお願いいたします。</p>
男性	50代	福島	その他	農村振興、中山間対策	<p>急激な情報化が進む中、農村の情報通信基盤はあまりにも脆弱である。そのためにも、ブロードバンドを効果的に利用した農山漁村のIT活用総合化プロジェクトは、都会と農村の情報格差を埋める有効な対策だと考えている。</p>
女性	30代	福島	主婦	技術、環境	<p>バイオマス資源のことにあまり周知されていないので、新聞広告などで分かりやすい広報が必要だと思います。 また、農山漁村にシステム設備を構築するためのプロジェクトリーダーを育成するとともに、各地に配置が十分に行われるようにし、円滑な事業が行われるようにしてほしいです。</p>
男性	50代	茨城	農業	農業経営、担い手	<p>農業所得補償もありがたいですが、農業を守るために農業政策である転作など協力している個人農家でも農機具を購入する時には補助を付けて頂きたい(一番良い転作非実施者に対するペナルティー)。</p>

男性	50代	茨城	農業	その他	<p>農業を取り巻く情勢が大きく変化しているのもわかるし、農業政策を打ち出すのには十分検討されているものと思いますが、農業を営む者にとっては、農業の政策が「3年間は変わりませんよ」というものの、1年もしないうちに変わってしまう農政に信用が出来なくなりつつあります。</p> <p>農業はほとんどが1年に1回の収穫、長期に計画をして、作物を作り育て収入を得ます。でも、今の政策ですと「3年の計画でやろう」と思っている、途中で変更してしまうため挫折し、今一度考え直すしかなく、邪魔な政策でしかありません。今後、政策を打ち立てるときは絶対途中では変更しないで安心して農業が出来る政策を願いたい。</p>
男性	60代	栃木	農業	食料・農業・農村政策審議会企画部会の資料及び議論	<p>茂木委員のJAグループの取組については評価します。</p> <p>取組に当り、農業経営の指導者のプロを育成してもらいたい。直売、加工技術、営業等集落営農から法人化と進むと思われます。そのためにも農業者とJAが密接な関係を持っていないと、JA離れが多くなると思います。そのための支援も必要です。</p> <p>藤岡委員の日本農業法人協会意見を取りまとめたものですが、自分は内容的には良いと思います。</p> <p>地域の集落営農や法人が利益を上げ、雇用が出来なければまわりの農業者を守っていけません。</p>
女性	60代	栃木	その他	食料・農業・農村政策審議会企画部会の資料及び議論	<p>茂木委員の意見の中で、JAが担い手への対応、農地の面的集約に取り組むことを是非、推進して欲しい。担い手の確保と育成に力を入れ、持続可能な農業政策へとなるようこれからも期待します。また、岡本委員の意見の耕作放棄地については、そのとおりと思う。食料自給率を高めるやめにも是非考えていただきたい。</p>
女性	60代	栃木	主婦	自給力・自給率、食料安全保障	<p>平成27年度に向けて、自給率45%を目標値としている。</p> <p>今、大豆の国産品は数%、麦に於いても輸入依存している。やっとな耕作放棄地を減らすため、減反政策をやめていくことは大変有効活用に使われます。</p> <p>又、農水省のリスク管理の悪さが指摘されては、私達消費者としても、安全安心の信頼関係が生まれないのが現実です。</p> <p>もっと正確な情報で明るい日本の農業をめざしてほしいと思います。</p>
男性	40代	栃木	農業	地産地消、食育	<p>高知県南国市の学校給食法を取り組まれたのは喜んでいますが、ぜひともこの基金をうまく利用していただきたい。大人が子供達に手をかけ、食するということがどんな重要な意味があるのか知って欲しい。利便性、経済効率性ばかりの傾向にあるが、人を育てるには手をかけることが一番。</p> <p>南国市の子供達は皆、自分の町が好きと言います。これからの地域作り、国作りには、郷土愛、愛国心が必要なのです。</p>
女性	60代	栃木	主婦	地産地消、食育	<p>地域がら地産地消は浸透している様に思うが、都市部などでは国産品と輸入品との購入率は如何なのか？</p> <p>食育に関する活動はしていますが、現場(行政事業)では活動の取り組みが少ないように思える。食育とは食を育てる、つまり美味しく・楽しく食べる工夫や幼児期から三食きちんと食べて、日本食の良さを伝える活動を広げて行く事が必要。</p>

男性	40代	栃木	農業	農業経営、担い手	・農地を守る上で、企業の参入も認めざるをえないことも分かるが、農家の方が企業化するような方がよい。農業は単なる産業ではない。地域との結びつき、行政とのパイプ役という面で、企業の利益追求と違う重要な意味がある。 ・自給率の向上ばかり目を向け、米・麦・大豆・飼料作物の作付を推進するが、土地利用型の農家は一部。野菜、園芸、畜産、専業農家を守る事が重要。まずは農家の生きる道を考える事が最重要。主要14品目野菜価格安定の充実を。規模、生産量に見合った所得だけは必要。作物の価格は市場経済にまかせてもいいが、農家の所得は別に考える必要がある。
男性	20代	栃木	農業	農業経営、担い手	農業の持つ多目的機能に対して助成をしてほしい(農地保全等)。 支援補助事業の内容が複雑すぎてわからない(米転作の飼料用米を今年新たに作ったら助成金事業が5つも加入で技術用件がある)主食用米を作らなければその面積にいくら助成する方法が良い昔の転作奨励金10a当たり10万円出た話を聞いた。 余計な事務費を減らして簡素化して農家に助成すれば農地は守られて行くと思う。 水田経営安定対策だが前年の精算金を戻して今年度追加積み立てを行う方法だが口座が貸し付け設定してありマイナスになっているので入金ができるがマイナス限度を超える為、引き落としが出来ないので精算金と追加積立金を相殺して入金か引き落としどちらか一方にして欲しい。
男性	60代	栃木	その他	農地、耕作放棄地	減反による不作付地、耕作放棄地は益々増えると想定される。 減反されている田圃は戦後の食糧難時代に新たに開墾した田が多く、揚水する必要があるが現状、放棄地に近い状態でありながら田圃と分類されている。放棄地も農機が入り込めないようなところが多く、効率の悪い畑である。農地の再分類により、地目を明確にして適性作物の生産計画を作り、担い手の多様化を進めるべきである。JAの存在意義の根本見直しも必須と考える。
男性	40代	栃木	農業	農地、耕作放棄地対策	耕作放棄地という言い方は好きではない。先祖伝来の農地を守りたいと農業者は思うもの。放棄には自分の意志からの思いが強い。体力的、経済的に無理なのだから。
男性	50代	栃木	農業	農村振興、中山間	グリーンツーリズムの考え方で都市と農村の交流を盛んにすることにより、経済はもとより、中山間対策に政府が交付金を投入してはどうか？
男性	50代	新潟	マスコミ	技術、環境	世界で初めての稲をエネルギーに活用しようという、新潟県ならではのプロジェクトがいよいよ実用化する。17日から始まる稲を原料にしたバイオエタノール混合ガソリンの販売だ。 水田の有効活用はもちろん石油依存からの脱却につながる期待感の大きい事業だ。しかし生産コストが高い上、稲の買い取り価格が主食米の1割程度とあっては、農家の意欲がそこなわれかねない。 原料稲の栽培には転作補助金が付くが、このままでは普及はおぼつかなく、農家が尻込みしてしまう。JA、国挙げてのエネルギー政策と位置付け、「経済財政改革の基本方針2009」にうたう真の低炭素革命実現へ弾みを付けてほしい。

男性	50代	富山	農業	農業経営、担い手	新規就農や企業の農業参入の促進に力を入れる前に、販売額の小さい小規模な認定農業者の面積拡大や、集落営農組織の拡大や経営複合化を進め、その経営体の中で後継者を育成することが、地域農業の活性化や新規就農者(後の後継者)のリスクを少なくする最善の道ではないでしょうか。なぜ、面積拡大が進まないのか、複合化が進まないのか、原因解明と対策を明確にしたほうがよいと思います。
男性	50代	富山	農業	農地、耕作放棄地対策	農地を遊ばせるなど以外の外、3年間で解消と言わず、早急に次年度から耕作できるようタイムスケジュールを作成・提示・指導すべき。現状のままでは、h23年度の耕作開始も危い。解消のためには、農地流動化を徹底して進めるべき。反対する農地所有者がいれば、「宅地並み課税」のように増税したり、迷惑料を掛けたりして、流動化したほうが得になるように仕向けるべき。
男性	60代	大阪	情報関連	食料・農業・農村政策審議会企画部会の資料及び議論	農林水産省の苦情はある程度わかる。JAの苦労もある程度わかる。しかし、国民への視点が見えない。農林水産省とJAの関係が勉強不足のせいかわからない。農林水産省はJAへの福祉局、JAは農林水産省に保護される非福祉団体に見える。農業政策全般が競争原理に基づかず福祉政策を担ってしまっているような気がする。
男性	60代	大阪	情報関連	自給力・自給率、食料安全保障	自給率や食料安全保障はきわめて国家戦略的ないし政治的な課題であり、国家が国民を誘導し一定の政策を堅持すべきである。農林水産省は、いつも高めの自給率提示し、各都道府県はそれに対応して生産出荷計画を立て、それらが毎年実現しないというパターンがずっと続いている気がする。例えば各都道府県の卸売市場整備計画(中央卸売市場と地方卸売市場)などの目標水準のかさ上げは甚だしい。実現できそうにない希望の数字を並べても空しいだけである。
男性	60代	大阪	情報関連	食の安全、消費者の信頼確保	各地にブランドを作らせ、価格差ができていない状態で、原産地表を義務づけ、罰則が皆無に等しければ、商業倫理凋落甚だしい昨今では、食品偽装は当然出てくる。厳罰体制をしけないところにアキレス腱がある。例えば、一色産ウナギの偽装でも、偽装で得た不当利益の方が罰則金より遙かに多い形で終わってしまっている気がする。
男性	60代	大阪	情報関連	地産地消、食育	大筋に於いて、地元の生産者が地元の消費者に売るのが得になるメカニズムが成立していない。例えば兵庫県の農家にとって一番高く買ってくれるのは大阪市内の中央卸売市場である。わざわざ、卸売価格の低い地元の市場に出荷し、それらが結果として地元住民により安い青果物をもたらしたとしても、長続きする保証はない。これは単に、生産者の得べかりし所得の犠牲の下に成立しているだけである。地産・地消という倫理はわかるが、経済論理性に欠けてしまっているケースが多いのではないか。
男性	60代	大阪	情報関連	農業経営、担い手	テーマ 農業経営、担い手～ 農地、耕作放棄地対策までは、食料・農業・農村政策審議会企画部会の資料及び議論で触れたこととある意味根底で共通の懸案事項を持っているように思います。JAに一括で長年随意契約をしていることの弊害を克服する用意があるかどうかにかかってくると思う。この問題はJAだけではなく世界的な課題でもあるでしょう。
男性	60代	大阪	情報関連	人材育成、雇用確保	バイオ技術、クローン牛、ハイブリッドなど、技術と環境に関わって、他省庁と連携し、従来型の生産体制を根本的に変えるような技術革新に一縷の望みはあるような気がする。生産者の中に競争メカニズムが働くような仕組みが不可欠である。

男性	60代	大阪	情報関連	その他	農林水産業はその名の示すとおり、大きく分けても農業(米、野菜、果樹)、林業(保安林、人工林、天然林)、水産業(沿岸、遠洋、養殖、真珠)、酪農業(肥育牛、酪農牛、豚、鶏、卵)に分かれる。その各について今回のテーマ11個がある感じなので、縦にテーマ11個、横に上記のような分野例えば14個を並べ、マトリックスにして整理して議論してもよいのではないか。いずれの仕事も他省庁との連携を改めて見直すことも必要ではないか。
男性	50代	奈良	農業	自給力・自給率、食料安全保障	本来、国民の生命を左右する食の安全と量の確保は国の責務で行うべきである
男性	50代	奈良	農業	農業生産	<ul style="list-style-type: none"> ・大和平野土地改良区は、約7,200haの水田に農業用水を供給するための水の操作と農業用水路(336km)の保守・点検などの維持管理を行っている。 ・近年、農地転用と耕作放棄地の増加や米価の下落などにより、賦課金(4,400/10a)による維持管理が困難になりつつあり、水田農業の維持が危ぶまれている。 ・国営事業を実施した地域は、食料自給率の向上や農業の持続的な発展が不可欠であって、このためには、国自らの発議による施設の計画的な更新や適正な管理が可能となる財源措置(全額国費)を講じる必要がある。 ・なお、これらの地域は、食料自給率の維持・向上の基礎的条件である農業用水施設の更新費用や維持管理費用を全額国費とすることから、農薬規制や耕作放棄地に対する厳しいペナルティーの附加、更には農地転用は一定期間(30年)認めないなど食の安全や量の確保に必要な条件を付すべきである。
男性	40代	和歌山	公務員	食料・農業・農村政策審議会企画部会の資料及び議論	<p>生産性の向上と生産流通コストの低減のための施策には具体的な記述があるが、農業者が意欲的な個人のレベルからそれらの施策を活用できるかどうか疑問がある。これらの基本計画が農業者を含めた国民に知ってもらえる啓発部分が少ないのでは？</p> <p>“食の安全・安心”と“生産と流通”を国として担保しないと国民に対するアピールが少ない。細かく書き込みすぎ。計画や理念は簡潔に。</p>
男性	60代	和歌山	その他	農業生産	<ul style="list-style-type: none"> ・国民に安定的に食料を供給すべきという観点から、食料自給率を向上させるという方向で基本計画が議論されていることについて賛成する。そのためには、担い手の育成・確保策も重要であるが、生産基盤を適切に整備し、農業の生産性を維持・向上することが重要である。特に農地へ水を供給するための頭首工や水路等の農業水利施設は、建設後老朽化が進行し、所定の機能を発揮できない事態となっているところも多く見られる。このため、今後これらの施設を適時、的確に整備・更新していく必要がある。これについては、現在の基本計画にも盛り込まれているが、新たな計画においても引き続き重要事項として盛り込むべきと考える。 ・また、土地改良区は国で造成した水利施設の管理を委託されているとともに県営事業や団体営事業で造成した施設も管理していかなければならない。近年、これらに係る管理費の増大が財政を圧迫している。現在、同管理については一部国からの助成事業もあるが時限制度であり、持続性のあるものにしていただくなど制度体制の整備をお願いしたい。
男性	50代	和歌山	農業	農業経営、担い手	大規模農家で経営ができるのは水田を中心とした平坦地のみで、我が県のような急傾斜地の果樹産地では国の施策がなじまないことが多い。地域の実情にあった施策を、また、すべての品目に最低所得補償がないと子育てができないので担い手が育たない。後継者がいないとすべての施策が無駄になります。

男性	40代	和歌山	農業	農業経営、担い手	ほ場整備 一枚を50a~100a 4m幅の道路に接する田 4月中旬から田植えができる水の供給 就農希望者の紹介 新卒者(農学部卒) 農業経験者 稲作助成金の有無。ある時はその内容
		和歌山	公務員	農村振興、中山間対策	農業の持続的発展に関する施策の整理の4ページ稲作所得の推移で、「各階層ごとにおおむね2倍程度の規模拡大が達成されていれば...所得水準を達成することができた」との考察は安易すぎる。中山間地では15年間に規模をたとえ2倍にすることができたとしても、経営効率を得られる地域は少ないと考える。事実、農業所得の向上に向けた取組5ページで、規模拡大したグループで所得増加者が21%に対し、所得が減少したものが44%にもなっている。証券が違いうにせよ、方向が全く反対を向いているのではないか。15年前より減反政策が強化されたことも併せて考えると、規模拡大で稲作所得が維持できるのは限られた地域と考える。
男性	50代	岡山	公務員	農業生産	転作を進めても、将来米価の保証はありません。 それよりも、食糧自給率の低い麦や大豆の価格補償制度を充実し、一定の価格で買い取る様な制度を考えてみてはどうか？ 所得補償も、コメより有利に設定しないと農家の方は取り組んでくれません。
男性	70代以上	広島	農業	農業経営、担い手	地域の担い手として農業をしている。昨年は、水稻を450a栽培した。税金の確定申告で、少し収入があることから税金を引かれた。出費が多い中で税金を引かれると、情けない。担い手農家には、税の優遇措置などをお願いしたい。今年若者が会社を退職して、農業を継いでくれるが、夢を壊しはしないかと私は心配している。
男性	70代以上	広島	農業	農地、耕作放棄地対策	私は、農地を増やして、余裕のある経営をしたい。近隣に、耕作放棄地がたくさん見受けられるが、不在地主であったりして受託耕作が容易でない。それらを、容易に耕作できる仕組みにしてほしい。
女性	60代	山口	主婦	自給力・自給率、食料安全保障	農業従事者の高齢化で山間地域の農地が放棄地となり、自給力・自給率が少なくなっているため環境と食糧の問題が大きくなっていく。若者が入りやすいように早く工夫しないと間に合わない。

男性	60代	山口	その他	食の安全、消費者の信頼確保	<p>消費者にとっての食の安心・安全とは提供される食品が正規のルートで生産・提供されたものであり又衛生上問題なく調理加工されたもので安心して消費できることにある。</p> <p>1. まず各産地で生産されるものが安全に生産(EX: 人体に影響を及ぼす薬品の使用等)されかつ履歴が正しく表示されていることが必要。最近とかく物議をかもしている産地偽装の問題があるが一般消費者にはなかなか見分けが困難である。</p> <p>食品を提供するサイドに正しい産地表示を義務化(トレサビリティの出来るような表示の履行)の再徹底・・・後を絶たない偽装は何故頻繁におきるのか？</p> <p>表示が正しく表示されているか否かの抜き取りチェック(公的機関等)・・・どの程度実行か？</p> <p>違反がある業者には市場からの排除・追放といったきびしい罰則規定の制定、対応・・・バレなければ何とかないといいた気持ちがまだまだある、内部告発といった他力を使う以外に道はないか？</p> <p>逆に消費者サイドもなんでも安かろう的な発想でなく安心・安全には十分コストがかかる事の認識が必要。</p> <p>2. 衛生管理</p> <p>企業における衛生安全基準・マニュアルが、万全でかつ真に実効されていること。特に消費者にとっては目に見えない所であり、大変不安であるが信頼のもとでの購入使用という行動パターンになっている。その為にも基準・マニュアルに則った食品であることが大前提となる。企業サイドは利益追求と相反するということで経営者も大変であるが、これを誤ると企業の存続はあり得ないという認識をもった行動が重要となる。</p> <p>(衛生管理基準の内容)</p> <p>調理現場への入退出管理(異物混入防止等)、作業服装(EX: マスク携帯)、手洗いの励行、作業員の健康管理(病原菌の感染)、温度管理(EX: 冷凍、冷蔵庫)、賞味・消費期限管理、食品提供 回収までの時間管理等々</p>
男性	60代	山口	その他	食の安全、消費者の信頼確保	<p>(衛生安全の指導體制)</p> <p>常に外部チェックのはいる体制で、通常作業で見落とされるケースをバックアップする仕組み。</p> <p>企業内に食品材料の購入 加工 商品のそれぞれの過程で適宜チェックする機関がある。(同時に事故が起きた場合即対応できる連絡体制)</p> <p>外部(保健所)からも定期的に安全指導点検にはいる体制</p> <p>衛生安全は事故がおきてからの対応でなく常に未然防止を最重要課題として経営のトップから現場の末端までが同レベルいることが重要である。</p> <p>・・・以上のことをどこが責任をもってチェック・指導しているのか？</p> <p>3. 安全より安さ 「食」意識に変化</p> <p>最近の景気悪化を受け、賃金減少傾向にあり、生活を支える食品でも「品質」よりも「安さ」を選ぶ家庭が増えていると言う報道を耳にする。今後さらに、この景気が継続すれば、これまで築いた「食」の安心・安全が商品を提供するサイド、消費者両サイドから少しずつ壊れていく危険を感じる。・・・このことに対しどのような対策をとろうとしているのか。すでに世の中は動いているが？ 7/7付け朝日新聞「私の意見」で表示偽装に関する意見には、経験から賞味期限はいい加減なものとの投稿あり、これがすべてとは思わないが実態を言い当てているような気がする。</p>

女性	70代以上	愛媛	主婦	食料・農業・農村政策審議会企画部会の資料及び議論	<p>1) 市民が積極的に農業を就職先に選べるような農家・農業支援を切望する。思い切った支援を！</p> <p>2) 農業学校・農業専門学校等の新設充実を希望します。先達って質の高い教員の養成の必要を思います。手始めには民間の農業指導塾の調査と、保護支援から。</p> <p>3) JAの運営が農家と良好な関係の継続と発展の為に支援と指導を要望する。現行の農協への出荷物に対する現行の長期分割支払い体制は農家のやる気を削がないだろうか。</p> <p>4) 農地の大型化の推進は、ケースバイケースが望ましいと思う。モノカルチャーは土地にとって望ましい姿なのだろうか。</p>
男性	50代	福岡	会社員	農業経営、担い手	<p>不況の時代、団塊の世代は働きたくても再就職も決まらない人が大勢いる。一人一人は戦力として弱くても、塊となれば力を発揮できると思われる。団塊の世代の有効的活用を一考願う。</p>
男性	30代	福岡	その他	農業経営、担い手	<p>なぜ担い手育成が進まないのか。単純な答えとして、儲からないから。儲かる仕組みを施策として打ち出すことができれば、自ずと担い手は育つはず。いつまでも補助金のバラマキをやっているうちは無理です。政局(選挙対策)に振り回されない国策としての食料・農業政策がない限り未来はありません。</p>
男性	50代	大分	流通業	食の安全、消費者	<p>トレーサビリティ法について7月14日熊本市において農林水産省総合食料局の説明を受けました。米の産地情報の信頼性について疑問を持ちましたので、所見を述べます。</p> <p>通常、米の産地情報の確認は生産者の申請データを基に検査員による米検査によってその信頼性が確保されています。しかし、説明会での総合食料局の説明によると、未検査米でも生産者が産地情報を提示すればトレーサビリティ法の「産地情報」として認められるとのことでした。現在の未検査米の流通を見ると産地も不明確で、品種の特定も困難な状況であり、いい加減な産地情報の基に汚染米等の混入も考えられ、未検査米の流通はトレーサビリティ法の理念にそぐわないものと考えます。</p> <p>安心、安全な食糧の供給の為に米穀検査の義務化を望みます。</p>
女性	70代以上	大分	主婦	農業経営、担い手	<p>先日、市外見学会で郡部の方へ行ってきた。のどかな風景の中に、あちこち休耕田が目につき、我々終戦後の食糧難で辛い思いをしてきただけに休耕田をみると気になる。</p> <p>そこで、休耕田については、耕作する者等を会社組織化して税金を投入してはどうか。若者が魅力を感じ生活できる農業にすることで、失業者も農業にも興味を持つのではないか。</p>
男性	70代以上	大分	農業	農業経営、担い手	<p>私は60歳で定年帰農し、今年で12年になる。近所の高齢農家からも150aを借り、水稻、いちご、野菜等を栽培しているが、米価の低下や獣害により粗収入で400万円程度にしかならず、経費を引くと赤字となり年金で補填してなんとか農業をやっているのが現状である。</p>
男性	50代	大分	公務員	農業経営、担い手	<p>本年6月の田植え時期、小雨のため各集落にあるため池等の水量調査を行った際、水路及びため池本体の泥について意見が多数出された。</p> <p>水路については、イノシシ等の被害により水の流が悪くなっており、ため池本体の泥は、現状の集落の労働力では、高齢化により作業ができない現状である。5～10年先の農業のためには、各地区のため池は必要であるが、何らかの対策を考えないと水のない農業はあり得ないとする。</p>

男性	70代以上	大分	農業	農地、耕作放棄地対策	我が地域は、都市計画の用途区域になっていることから、国等の補助事業が受けることができない。中山間であろうと用途区域であろうと農地を荒らすわけにはいかないことから、命の続く限り、地域のリーダーとして自負をもって農業をやっていくつもりである。中山間地でも用途区域でも農地を守るということは同じである。
男性	40代	鹿児島	公務員	農地、耕作放棄地	農地集約と耕作放棄地の解消に当たり、現在の農地法では利用権の設定者が明確に位置づけられていますが、現場では耕作放棄地の解消の一つとして、地域の若い農業者グループや集落営農を目指す任意組織等が、耕作放棄地を借入農地に復元して共同作業による活動経費の捻出や優良農地の維持に努めていますが、現在の法や制度ではこれが対象とならないため、これを、自治体が認める場合対象と出来ないか検討できれば幸いです。